

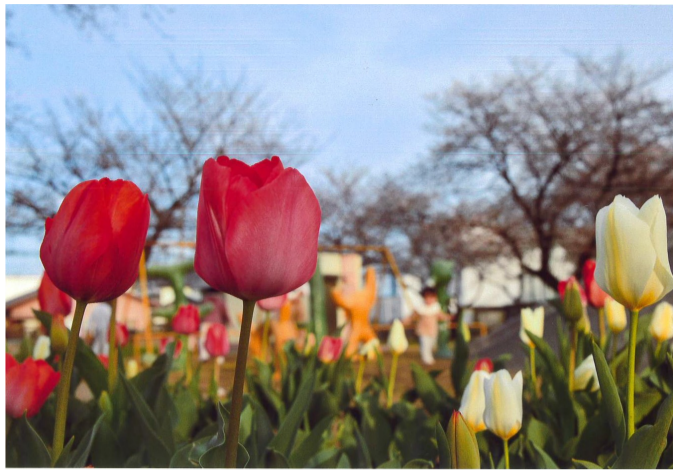


# 東地区に関わる写真を紹介します！

～今回は『春の訪れ』をテーマにした写真を紹介します♪～



河津桜（鏡神社）



チューリップ（滝川公園）



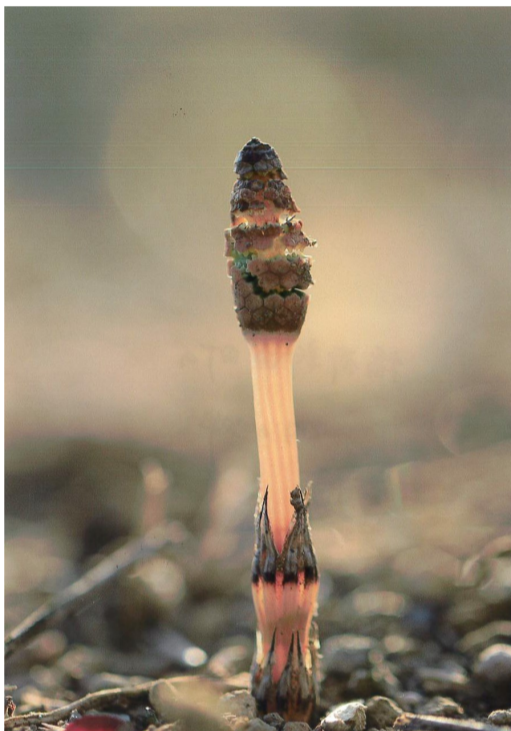
菜の花（東公民館）



ふきのとう（稲荷新田町）



川曲町緑地（滝川河畔）



つくし（稲荷新田町）



八重桜（朝日ヶ丘公園）



花桃（新田小前休憩所）

※提供：東カメラ愛好会

※写真をカラーで見ることが出来ます→



前橋市の西部に位置する東地区はなぜ東（あずま）となったのだろうか？東の地名について紹介していきたいと思えます。

## 東（あずま）の地名

明治二二年（一八八九）四月一日の市制・町村制により、群馬県下に東（あずま）村が五カ所誕生しています。

それらは、当地群馬郡東村をはじめ佐波郡・勢多郡・利根郡・吾妻郡にできました。

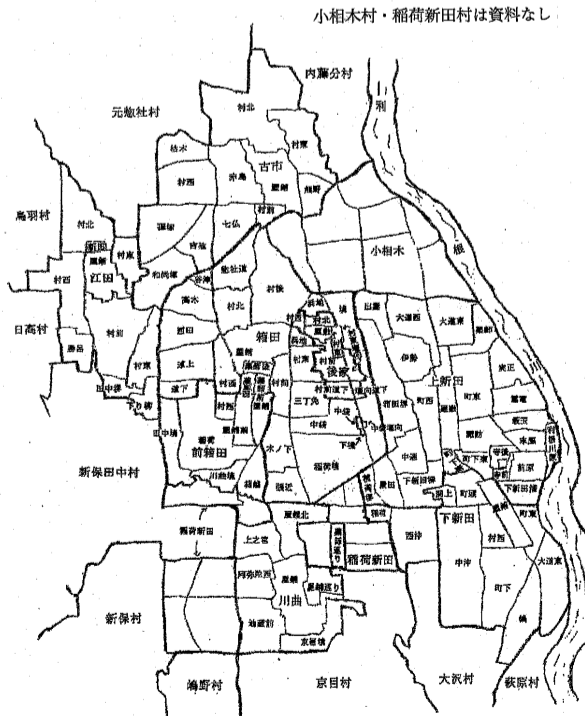
東村の命名を辿ると、群馬郡と佐波郡は、古代の東山道（とうさんどう）の名残りと言われる鎌倉時代の東道（あずまみち）の名を村名としています。他の勢多郡・利根郡・吾妻郡については、その郡の東方の位置にあることから村名としています。

当地群馬郡東村は、江戸時代からの小相木・古市・江田・箱田・前箱田・川曲・上新田・下新田・稲荷新田・後家の一〇か村が合併して誕生し、旧村名を継承した一〇大字を編成していました。

昭和二九年（一九五四）前橋市と合併、村制時の各大字は同市の町名に継承され、現在は前橋市東地区と呼ばれています。

この地区は、昭和三八年から朝日が丘・光が丘・前箱田・大利根第一・第二の大型住宅団地が造成され、区画整理も実施されて、現在でも宅地化が進み、緑豊かな田園風景も遠い昔となりました。人口も増加し、前橋市の一割ほどに迫っています。

東地区の小字（明治6年）  
（県立文書館所蔵・地籍図より作成） 地図1



- ① 今後の「東の地名」についての掲載予定
- ② 東地区の歴史と地名
- ③ 各町の地名

館報編集委員会 小池 照一

### 東市民サービスセンター（東公民館） 職員人事異動

◆「お世話になりました」  
主任 横堀 亜可理  
（障害福祉課へ異動）

◇「よろしくお願ひします」  
副主幹 松岡 秀明  
（芳賀市民サービスセンターから異動）

